



この地方では、毎年2月中旬頃からスギ花粉が飛散されると言われています。

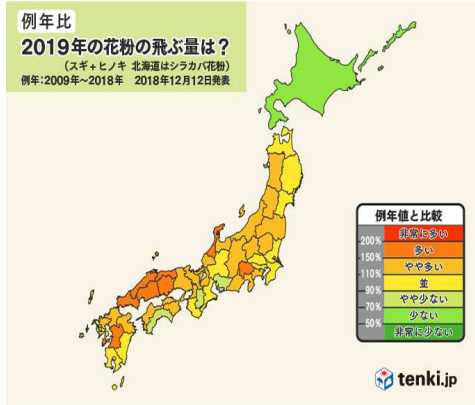
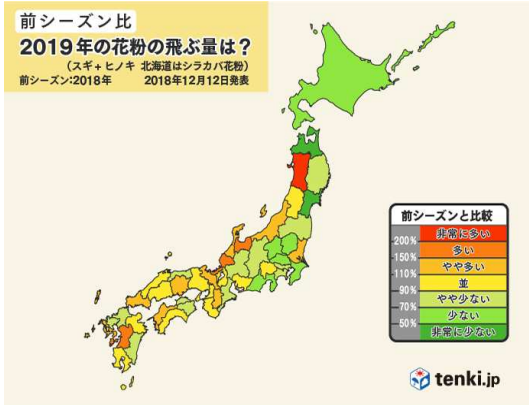
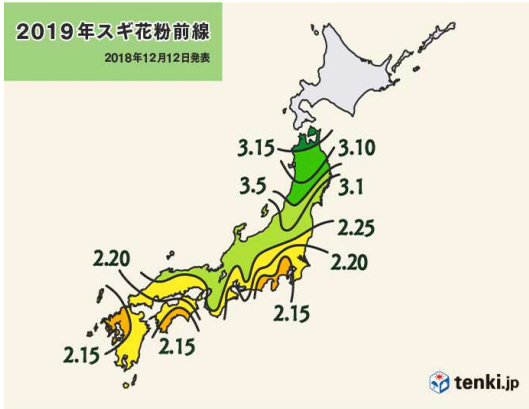
前シーズンの花粉の飛散量は、全国的に例年よりも多くなりませんでした。

東京ではヒノキ花粉が過去10年で最も多く飛散するシーズンとなりました。

(例年比約4.9倍、2017年シーズン比約4倍の飛散量)

2019年の予測に向けて花芽調査を行ったところ、今年のヒノキ花粉の飛散量は前シーズンよりは少ないと予測されますが、広い範囲で例年よりやや多い傾向です。

* 例年(過去10年(2009~2018年)の平均値)



<日本気象協会の観測地点調べ>

【花粉症対策】



頭 花粉は髪の毛の中に入りやすいもの。帽子をかぶる、髪の毛をまとめるなどできるだけ花粉に触れないように！

目 眼鏡や花粉症用のゴーグルで、目の粘膜を守ろう！

鼻・口 マスクでしっかりとガード

服装 ウールではなく、繊維の中に花粉が入り込みにくい化繊のものを。静電気防止スプレーなどを使うと、さらに花粉が付きにくい

- ◆ 布団、洗濯ものはできるだけ外に干さない
- ◆ ベットについた花粉を室内に持ち込まない

次に、スギ花粉症の根本的な治療をご紹介します。

【減感作療法:舌下免疫療法】

アレルギーの原因となっているアレルゲンを少量から体内へ投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげたり、日常生活に与える影響を改善する効果が期待されます。

これまでスギ花粉症に対するアレルゲン免疫療法は医療機関で行う皮下注射のものだけでしたが、最近舌の下で治療薬を保持する「舌下免疫療法」のお薬が登場し、自宅で服用できるようになりました。

当院でも2018年から治療できるようになりました。

その治療の適応かどうかは、医師の診察、血液検査後判断されます。

* スギ花粉が飛んでいる時期は治療を新たに開始することはできません。

* 完全に症状がおさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の使用量を減らすことが期待できます。

* 治療は長期間(3年以上~5年)かかります。

いそファミクリニック